

きいた ことを ただしく つたえよう

なまえ

◎ かずきさんたちは、四月しがつに 学校がっこうたんけんを して、 学校がっこうの 中なかの いろいろ な ばしょが、 どんな やくわりを して いるかが わかりました。 先生せんせいがたに きいた ことを メモにかき、 スピーチする ことに しました。

【 かずきさんたちの メモ 】

ほけんしつのはやし先生せんせい

・ほけんしつでは、けがを した人や、ぐあいの わるく なった人のあてを する。

・いろいろな くすりが おいて あります。 こともが かってに つかっては いけない。

・あてを うけた ひととは、きろく ようしに クラスと 名なまえ、けがの ようすを かくことに なっている。

・こどもに、「ありがとう」と いわれると うれしい。



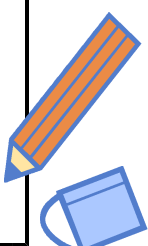
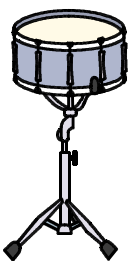
おんがくの たかぎ先生せんせい

・おんがくしつには、たくさんの がっきが おいてある。

・おんがくの じゆぎようで つかっている。 かってに さわっては いけない。

・ほうかごは、おんがくぶの 人ひとたちが がっきを えんそうを している。

・みんなが たのしそうに うたった り えんそうしたり しているのを見るのが うれしい。



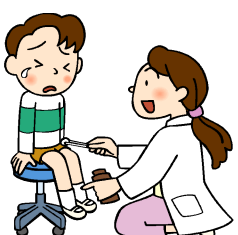
① あいてに はなしを きく ときに たいじな ことは なんですか。ただし
ことは○、 まちがって いる ことには、×をつけましょう。

- () ききたい ことを きめて おく。
- () なんでも いいから たくさん きいて みる。
- () 先生や 年上の 人には ていねいな ことばで はなす。
- () よく わからない ときは、もう いちど はなして もらう。
- () よく わからない ときは、しつもんを しない。



② がっこうたんけん で メモに かいた ことを みんなの まえで スピーチ
します。「ほけんしつのはやし先生」の メモを 見ながら ていねいな こ
とばに なるように つづきを かきましよう。

「スピーチ」(ほけんしつのはやし先生)



ぼくは、ほけんしつのはやし先生に おはなしを ききました。
ほけんしつでは、けがをした ひとや、ぐあいの わるく なった ひとの
あてを

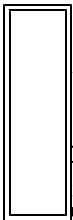
てあてを するために いろいろな くすりが おいてあります。くすりは、
ほけんしつのが先生が いないと つかえません。

てあてを うけた 人は、 しろくようにしに クラスと なまえ、けがの
ようすを かくことに

はやし先生は、てあての あとに 「ありがとう」と いわれることが うれ
しいと 言って いました。



③「おんがくの たかぎ先生」の メモを みながら スピーチの つづきを
かんがえて の 中^{なか}に かきましよう。

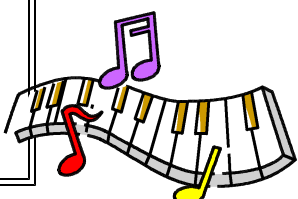


「スピーチ」(おんがくの たかぎ先生)

わたしは、おんがくの たかぎ先生に おはなしを ききました。

おんがくしつには、たくさんのがつきが おいて あります。がつきは、
じゅぎょうで つかっているので かってに さわっては、 いけません。

ほうかごは、おんがくぶの 人^{ひと}たちが がつきを えんそう しています。



きいた ことを ただしく つたえよう (こたえのれい)

なまえ

◎ かずきさんたちは、四月しがつに 学校がっこうたんけんを して、 学校がっこうの 中なかの いろいろ ばしょが、 どんな やくわりを して いるかが わかりました。先生せんせいがたに きいた ことを メモにかき、 スピーチする ことに しました。

【 かずきさんたちの メモ 】

ほけんしつのはやし先生せんせい

・ほけんしつでは、けがを した人や、ぐあいの わるく なった人のあてを する。

・いろいろな くすりが おいて あります。 こともが かってに つかっは いけない。

・あてを うけた ひととは、きろく ようしに クラスと 名なまえ、けがの ようすを かくことに なっている。

・こどもに、「ありがとう」と いわれると うれしい。



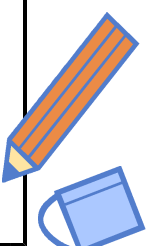
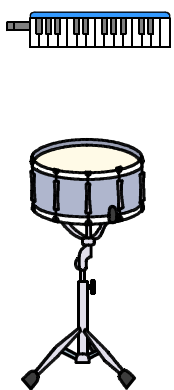
おんがくの たかぎ先生せんせい

・おんがくしつには、たくさんの がっきが おいてある。

・おんがくの じゆぎようで つかっている。 かってに さわっては いけない。

・ほうかごは、おんがくぶの 人ひとたちが がっきを えんそうを している。

・みんなが たのしそうに うたった り えんそうしたり しているのを見るのが うれしい。



① あいてに はなしを きく ときに たいじな ことは なんですか。ただし
ことは○、 まちがって いる ことには、×をつけましょう。

- (○) (ききたい ことを きめて おく。
- (×) (なんでも いいから たくさん きいて みる。
- (○) (先生や 年上の 人には ていねいな ことばで はなす。
- (○) (よく わからない ときは、もう いちど はなして もらう。
- (×) (よく わからない ときは、しつもんを しない。



② がっこうたんけんて メモに かいだ ことを みんなの まえで スピーチ
します。「ほけんしつのはやし先生」の メモを 見ながら ていねいな こ
とばに なるように つづきを かきましよう。

「スピーチ」(ほけんしつのはやし先生)



ぼくは、ほけんしつのはやし先生に おはなしを ききました。
ほけんしつでは、けがをした ひとや、ぐあいの わるく なった ひとの
あてを します。 しているそうです。 するといっていました。

てあてを するために いろいろな くすりが おいてあります。くすりは、
ほけんしつのが先生が いないと つかえません。

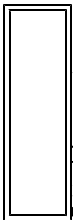
てあてを うけた 人は、 しろくようにしに クラスと なまえ、けがの
ようすを かくことに

例 なくなっています。

はやし先生は、てあての あとに 「ありがとう」と いわれることが うれ
しいと 言って いました。



③「おんがくの たかぎ先生」の メモを みながら スピーチの つづきを
かんがえて の 中にかきましよう。



「スピーチ」(おんがくの たかぎ先生)

わたしは、おんがくの たかぎ先生に おはなしを ききました。

おんがくしつには、たくさんのがつきが おいて あります。がつきは、
じゅぎょうで つかっているので かってに さわっては、 いけません。

ほうかごは、おんがくぶの 人たちが がつきを えんそう しています。

例

たかぎ先生は、みんなが楽しそうに歌ったり、演奏したりしているのを見るのがうれしいと言っていました。

※②の問題「スピーチ」(ほけんしつのはやし先生)を参考にして文章の
続きを考える。

